

新たな視点でのまちづくりを

明るいまちづくりに努めます



高瀬 勉 議員

小川町も還暦ですね

質問 ふるさと納税とクラウドファンディングの仕組みを合わせた「ガバメントクラウドファンディング」を活用した特定事業の実施は、

答弁 政策推進課長 内容として、自治体が実施したい、応援してほしい特定の事業に対し、インター

ネットを通じて広く不特定多数の人から賛同を募り、ふるさと納税という形で資金調達をする方法と認識しています。実施する場合は、事業の選定や制度設計など、慎重な判断が必要であると考えています。

質問 新装開店した「ヤオコー小川

ショッピングセンター」等の民間施設を活用した公共サービスの拠点化や、コスト削減等は、

答弁 政策推進課長 今後の行政サービスの提供は、民間施設を借りるなど財政負担の軽減につながるものは、積極的に検討します。また、公共施設の統廃合・更新については、官民連携での複合施設等の建設も考えていきます。

質問 新たな観光の手法としても注目されている「フォトロゲイニング」の開催を。



合併60周年記念DVDから

答弁 産業観光課長 近隣では、「寄居町がイベント業者の協力を得て実施した」と聞いています。当町においては、「どのような地域」で、「どのような団体」が行なえるのか、その方法を研究します。

健士・健食、地産地消のまちづくりを進めよう

まちづくり

健士・健食への取り組みは各協議会を通じて啓発していきます



金子美登 議員

質問 国の医療費総額は約40兆円で、国家財政を圧迫する状況にある。また、今は何が原因か特定できない病が大半と考える。そこで次の4点を伺う。

① 予防医療への考え方は ② 下里地区のように、他地区も良質な堆肥づくりができる体制を組めないのか ③ 学校給食に有機農産物を導入できないのか ④ 和食で地産地消を当町の売りにするために、学校で食農教育をできないか。



良質な堆肥（下里地区）

答弁

健康増進課長 ほか

① 幼少期に培われる味覚や食事の嗜好は、成人後の食習慣に影響すると考えられます。そのため、町では乳幼児健診や相談、離乳食教育等の事業を行なっています

② 農家の環境保全型農業への取り組みについて、有機農業推進協議会や転作集団連絡協議会等を通じて啓発して

いきます ③ 現在は特定した発注を行なっていませんが、今後「小川町有機農業推進協議会」等の場で、当町産有機農産物の導入について、協議を重ねていきたいと考えています

④ 当町では既に、地産地消に係る食農教育として、農園見学や芋掘り、学校ファームでの栽培等を行なっています。

具体策はないの？積極的にいこうよ！



大戸久一 議員

まちづくり

町の未来像は

第5次総合振興計画で示します

質問 今後大きな財政支出として、小川町駅橋上通路建設、駅南・北の周辺整備、新ごみ処理施設建設の負担金、東松山斎場の改修工事負担金等がある。一方、人口減少による税収減も考えられる。町の未来像について、財政再建を踏まえ具体的な施策は、

答弁 政策推進課長 第4次総合振興計画の施策を踏まえ、地域経済の活性化や豊かで活力あるまちづくりを進めます。人口減少、少子高齢化の

進展により、公共施設規模をコンパクト化し大きな財政負担に備え、財源確保緊急対策本部にて検討し、効率的な財政運営に努めます。

質問 伝統工芸会館の入場者が増えていく。この流れを維持可能なものとするには、施設の充実が必要である。そこで、10以上ある紙すきの工程を和紙人の形等で見える化膨大な歴史資料の展示、手すき和紙体験スペースの充実、さらに地場産製品販売、飲食用の心癒す長屋建て店舗の建築等の考えは、

答弁 産業観光課長 町の活性化に向け、後継者養成を進めるための体験スペースと、販売・飲食の併合施設整備は観光媒体として効果的と考えます。個人または団体等から店舗運営を行なう具体的要請が出された場合は、商工会と連携していきたいと考えます。

その他の質問

◎ 東小川団地活性化のために旧上野台中学有効利用は



手狭な和紙体験スペース（伝統工芸会館）

地図をもとに時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツです。チェックポイントに到着した記録として、写真一覧と同じ風景を撮影します。